



# JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

Japanese Journal of Mathematicsは2005年の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。  
2006年より3rd Seriesを創刊、  
卓越したサーベイを出版する国際学術誌として生まれ変わりました。

## New Editors

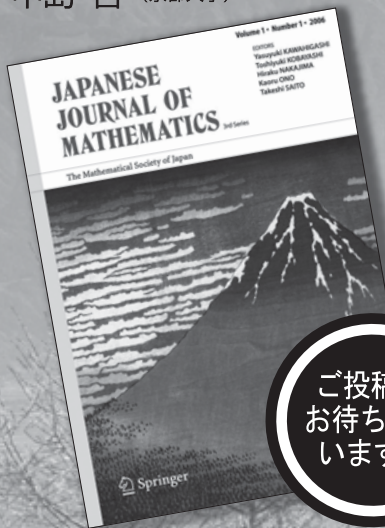
小野 薫 (北海道大学)

河東泰之 (東京大学)

小林俊行 (京都大学数理解析研究所)

斎藤 毅 (東京大学)

中島 啓 (京都大学)



ご投稿を  
お待ちしております。

図書委員の先生方へ：  
新規購読をおすすめします。

【連絡先】

〒110-0016

東京都台東区台東1-34-8

社団法人 日本数学会

Fax : 03-3835-3485

年2回発行

{ ISSN: 0289-2316 (冊子版)

{ ISSN: 1861-3624 (電子版)

年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00

会員には各冊子の会員割引があります。

Volume 2 (2007) 予定

◆V. Turaev : “語のトポロジー” 講義

### 伊藤清氏第1回ガウス賞受賞特集

◇特別寄稿者: P. Malliavin, H. McKean,  
Ya. G. Sinai, D. Stroock,  
J. Pitman, M. Yor, 福島正俊 and more...

### 第1回高木レクチャー特集

S. Bloch (シカゴ大学教授)

P.-L. Lions (1994年フィールズ・メダリスト,  
コレージュ・ド・フランス教授)

S. Smale (1966年フィールズ・メダリスト,  
TTIC教授, シカゴ大学教授)

C. Voisin (ジュシュー数学研究所教授)

◆三宅克哉: 日本の現代数学の父, 高木貞治について

Volume 1 (2006) 目次

◆V.I. Arnold : フェルマー・オイラー合同式の  
行列版について

◆彌永昌吉: クロード・シュヴァレーの類体論に  
関する業績

◆S. Gindikin :

対称スタイン領域上の調和解析 — 複素解析の観点から

◆L. Illusie :

l 進コホモロジーのトレース雑録: サーベイ

◆A. De Sole and V.G. Kac :

有限W代数対アフィンW代数

◆B. Roynette, P. Vallois and M. Yor : ウィナー  
測度に対するペナルティ法

◆K.-H. Neeb : 局所凸位相群のリー理論に向けて

◆小島定吉 (日本数学会理事長): 創刊のこぼれ

◆森田康夫 (日本数学会前理事長): JJM 3rd Series  
創刊について

社団法人 日本数学会

詳しくは <http://www.math.or.jp/JJM/>